

第62回北九州市障害者スポーツ大会を開催します！

～ひろげよう ふれあいの輪を～

第62回北九州市障害者スポーツ大会を下記のとおり開催します。
今大会は、10月に佐賀県で開催される「第23回全国障害者スポーツ大会」の予選会を兼ねています。

ご多忙とは存じますが、報道機関の皆様の取材方よろしくお願いいたします。

1 目的

「ひろげよう ふれあいの輪を。」を大会スローガンに、障害のある選手が、本市における障害者スポーツの祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、市民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

2 日時

令和5年5月26日（日）10:00～13:50

- ・開会式 10:00～10:25（市長、市議会議長出席予定）
- ・競技 11:00～13:20
- ・閉会式 13:30～13:50



3 会場

黒崎播磨陸上競技場 inHONJO（八幡西区御開4丁目16-1）

4 主催

北九州市、(公財)北九州市身体障害者福祉協会、(社福)北九州市手をつなぐ育成会、(社福)北九州市社会福祉協議会、北九州市障害者スポーツ協会

5 競技種目

- (1) 陸上競技
- ・競走（スラローム、50m、100m、200m、400m、800m、1,500m、4×100m）
 - ・跳躍（立ち幅跳び、走り幅跳び）
 - ・投てき（ソフトボール投げ、ビーンバッグ投げ、ジャベリックスロー）
- (2) フライングディスク（ディスタンス、アキュラシー、ディスリート）

6 雨天等の場合

小雨決行（荒天中止：当日午前6時決定）

※中止決定の際は、市政記者会加盟各社にFAX送信させていただきます。

※本大会に関する事前のお問い合わせは、5/24（金）17時までにお願ひします。

【お問い合わせ先】

保健福祉局 障害福祉企画課
担当 樋口（課長）、若松（係長）
電話 093-582-2453

協議説明

【ビーンバッグ投げ】

ビーンバッグ投げ（ビーンバッグなげ）は、重度障害者のために考案された障害者スポーツ。

ビーンバッグ（よく乾燥した大豆等を入れたもので、重量は 150 g。12 cm×12 cmの布または適当なものの袋）と呼ばれるものを投げ、どれだけ遠くに飛ばせるかを競う競技。

ビーンバッグを足に乗せて蹴り出すことなども含めて投げ方は自由。

【ジャベリックスロー】

ジャベリックスローは、ターボジャブを投げた距離を競う競技。

ターボジャブの重さは 300g、長さは 70cm で、やり投の導入として開発された。

全国大会はジュニアオリンピックのみで開催されている。

【フライングディスク】

○ディスタンス

ディスタンスは、ディスクの飛距離を競う競技。

間隔をおいて設けた複数のスローイングサイトから 2 分 30 秒以内に 5 回スローを行い、飛距離を計測する（ファウルラインの中心から、地面に落ちた地点でのディスクの中心までを計測）。スローイングの際は、投げ方に制限はないが、バックハンドスローが一般的。

○アキュラシー

アキュラシーは、ディスクコントロールの正確さを競う種目。

高さ 1 m の足をつけた、一辺 1.5m の正方形の枠をゴールとし、正面 13.5m・22.5m・31.5m、左右方向 13.5m・22.5m の 7 ヶ所から各 4 投する。7 分間の競技時間に合計 28 投を行い、ゴールの通過数を競います。

○ディスリート

ディスリート・ファイブは 5m、ディスリート・セブンは 7m先の内径 91.5cm で地面から 61cm の高さにある円形のゴールを狙ってディスクを 10 投連続して行う。

視覚障がい者の選手には、スローイングの方向をゴール後方 3m の距離から音で知らせる。ディスタンスは、男女別に座位と立位の 4 区分で競技し、飛距離を競う。

今大会はディスリート・ファイブのみ。